

も お か

2026 7
令和8年7月 No.854



新たまねぎ収穫体験会（P12 関連記事）

特集

真岡の夏まつり荒神祭
第1回もおか尊徳マラソン大会
健康は毎日の食事から
クーリングシェルターをご利用ください
公園でみんなが楽しく過ごすために

市公式アプリ

市からのお知らせ、防災行政無線などをスマホで！



広報もおか 854号/令和8年7月1日発行/発行人 真岡市長 中村和彦/編集 秘書広報課広報広聴係

〒321-4395 栃木県真岡市荒町 5191 / TEL 0285-83-8100 / FAX 0285-83-5896 / HP <https://www.city.moka.lg.jp/>

No.184 わか家の天使たち



荒町の
なかむら ここな
中村 心愛ちゃん(1)

いつもニコニコ笑顔の末っ子心愛ちゃん。お兄ちゃんやお姉ちゃんに揉まれながらたくましく育っています。最近は歩くのが上手になりました。健康にすくすく育ってね！
(パパ・ママより)

笑顔 をさがして

421 人目の笑顔さん

の でら まこと
野寺 誠 さん



真岡市で不登校や学習意欲が持ちにくい子の再起動支援を中心に活動しています。その他にもごみ拾いボランティアなど地域貢献にも取り組んでいます。

二宮尊徳 に学ぶ Vol.04



尊徳を 支えた家族

尊徳が34歳の時、小田原藩家老の服部家に奉公していた16歳の波と結婚します。

尊徳が桜町領（現在の真岡市物井・横田・東沼）の復興を命ぜられた際、波と2歳半になる息子の弥太郎の3人で桜町領に移住しました。

桜町領に移住した次の年（1824年）の7月に娘のふみが桜町陣屋で誕生します。こうして尊徳の生涯を支える4人家族となりました。そして同年11月には、大前神社にお宮参りをしています。

(問) 文化課文化財係Tel 83-7735

二宮尊徳資料館Tel 75-7155

9:00～16:30 休館日：月曜日（祝日・休日を除く）、祝日・振替休日の翌日（土・日曜日を除く）、年末年始



報徳サミットHP
ID26193

～真岡で生まれた娘「ふみ」の生涯～

ふみの才

ふみは書や絵を習い「松隣」や「奇峰」の雅号*をもち、15歳頃からは、桜町陣屋の帳簿類への記帳や管理を行うなど、秘書のような立場で尊徳を支えました。また、2024年には幼いふみの自筆とみられる百人一首かるた絵の習作*が地元の方から市に寄贈され話題になりました。

*1 本名とは別につける芸術活動用の名前
*2 練習のために作られた作品



▲ふみ自筆とみられる百人一首かるた絵



▲奇峰画「竹に雀の図」
(相馬市教育委員会提供)

ふみの最期

29歳の時に、尊徳の高弟*で相馬藩士である富田高慶と現在の福島県相馬で結婚。翌年、出産のため真岡に里帰りしますが死産となり、産後の肥立ちが悪く、30歳で亡くなりました。葬儀は桜町陣屋の近くにある蓮城院で行われ、同寺に埋葬されています。その後、桜町領では女の子に「ふみ」と名付けることが多かったといわれています。真岡で生まれ若くして亡くなったふみに、領民たちが親しみを感じていたことを思わせるエピソードです。



▲蓮城院墓域

*3 弟子の中で特にすぐれている者